

鉄欠乏性貧血

●鉄

ヘモグロビンの重要な成分
高値;再生不良性貧血、急性肝炎
低値;鉄欠乏性貧血、がん、感染症

●TIBC

total iron binding capacity

=総鉄結合能

鉄が結合し得るトランスフェリンの総量

鉄欠乏症貧血の場合…Fe:低値/総鉄結合能:高値

●UIBC

unsaturated iron binding capacity

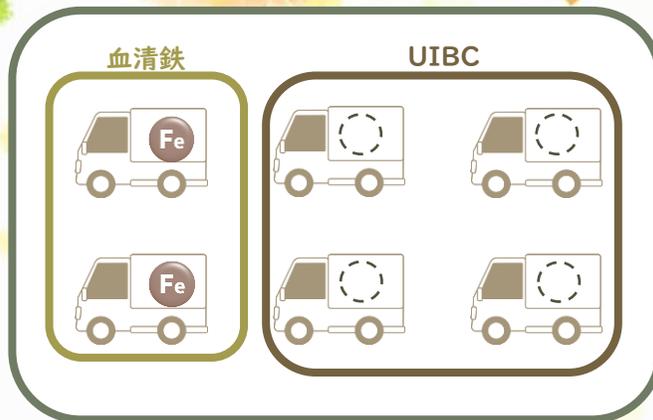
=不飽和鉄結合能(UIBC)

不飽和(未結合)のトランスフェリンと結合しうる鉄量

貯蔵鉄
=フェリチン Fe

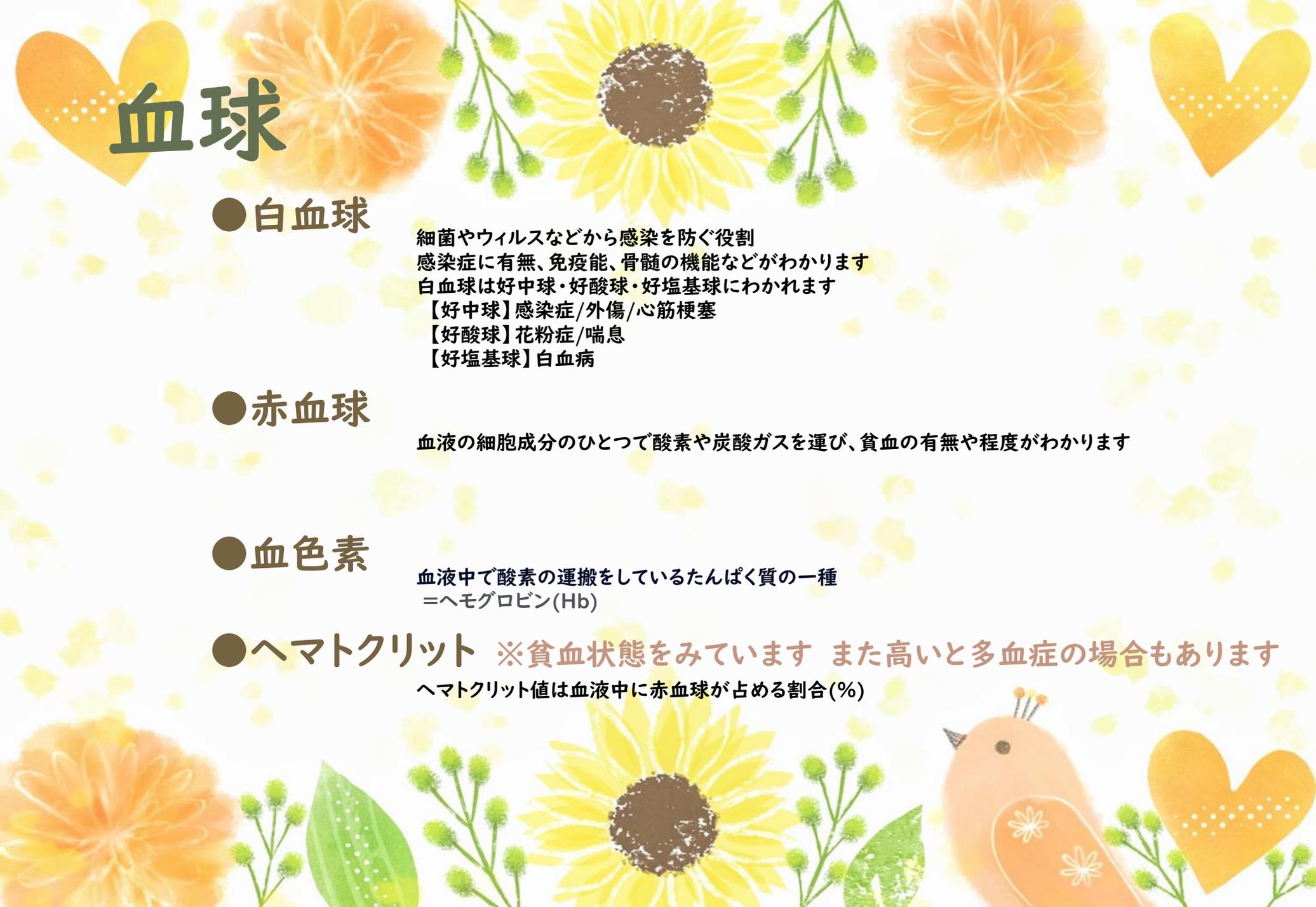


赤血球を壊す(約120日)



トランスフェリン=腸管から吸収された鉄、組織から放出された鉄を結合して、血中を運搬し、造血細胞に引き渡す役割
貯蔵する鉄が減少するに従い増加する

※血清トランスフェリン濃度は鉄欠乏状態で増加し、慢性感染症や悪性腫瘍などで低下



血球

●白血球

細菌やウイルスなどから感染を防ぐ役割
感染症の有無、免疫能、骨髄の機能などがわかります
白血球は好中球・好酸球・好塩基球に分かれます
【好中球】感染症/外傷/心筋梗塞
【好酸球】花粉症/喘息
【好塩基球】白血病

●赤血球

血液の細胞成分のひとつで酸素や炭酸ガスを運び、貧血の有無や程度がわかります

●血色素

血液中で酸素の運搬をしているたんぱく質の一種
＝ヘモグロビン(Hb)

●ヘマトクリット ※貧血状態をみています また高いと多血症の場合もあります

ヘマトクリット値は血液中に赤血球が占める割合(%)



● MCV Mean Corpuscular Volume

=平均赤血球容積

赤血球の大きさ

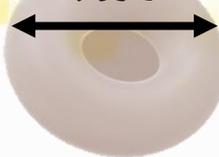
高値; ビタミンB12欠乏性貧血、葉酸欠乏性貧血、過剰飲酒

低値; 鉄欠乏性貧血、慢性炎症にともなう貧血

80 flより小さい貧血を小球性貧血

100 flを超える貧血を大球性貧血

大きさ



ヘリコバクターピロリの感染による萎縮性胃炎に伴う内因子の分泌低下によりビタミンB₁₂吸収障害が起こり巨赤芽球性貧血がもたらされて平均赤血球容積は高値になります

● MCH Mean Corpuscular hemoglobin

=平均赤血球ヘモグロビン量

赤血球1個あたりのヘモグロビンの量

高値; ビタミンB12や葉酸の不足 → 大球性貧血

Hb量



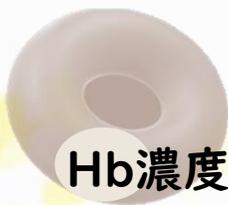
● MCHC Mean Corpuscular hemoglobin concentration

=平均赤血球ヘモグロビン濃度

血中に含まれる赤血球1個あたりのヘモグロビン濃度

高値; 脱水状態/多血症

Hb濃度



● 血小板

骨髄の中で産生され末梢血中に現れる血液成分の1つで、血管壁が損傷すると集まって凝集し止血



MCV	MCH	MCHC	疑われる貧血
↓	↓	↓	鉄欠乏貧血 慢性的な出血
—	—	—	再生不良性貧血 溶血性貧血
↑	↑	—	溶血性貧血 巨赤芽球性貧血